

第5巻 地域包括支援センター通信



◆「平成28年春頃から自宅を開放し、喫茶店を始めました。」と店主の川崎美和さん

◇この喫茶店はいつから行われていますか。

れた小さな札が掛けられています。道路脇にあるウエルカムボードには、その時期に合わせた俳句と喫茶店の営業日が記載されています。黄色いハンカチがひらめく喫茶店にお邪魔させていただくと美しい花々とオルゴールの音色が迎えてくれます。



怒田地区
『きまぐれ喫茶 ぼんぼん』
怒田の川崎さん宅の入り口には営業中と書か

日(月) 4月24日



んは笑顔で答えてくださいました。お仕事をされながら喫茶運営をされている川崎さんは、月に4〜5回喫茶店を営業されているそうです。営業日は道路脇にあるウエルカムボードにてお知らせしていますが、近所の方には分かりにくいいため自宅前に黄色いハンカチを旗のように連ねて掲げること、喫茶店の営業日をお知らせするようにしたそうです。この方法は、映画『幸せの黄色いハンカチ』がヒントになっているそうです。

その他、フェイスブックでも喫茶店の営業日や庭に咲いている花々を紹介しています。この方法は高知大学の学生に

考案していただいたそうです。

◇この喫茶店の名前の由来を教えてください。

◆「きまぐれ喫茶ぼんぼん」は川崎さん宅の飼い猫の名前(ぼんぼん)から取りました。

◇この喫茶店を始めたきっかけを教えてください。

◆「私自身が町外から来た人間なので、地元の方との交流を図るため、誰もが気軽に訪れて話ができる場所をつくって、人とのつながりを築きたいという思いから始めました。」

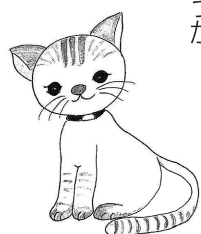
「自然豊かなこの地(怒田)に訪れる方々に、自然を感じながら時間を忘れてゆっくり過ごしてもらいたいと思っています。」

この喫茶店では、コーヒー・紅茶・抹茶などの飲み物が全て100円で提供されています。時期によってメニューは少しずつ変わりますが、事前に予約をしておけば軽食も用意できるそうです。

◇この喫茶店を始めて嬉しかったことを教えてください。



◆大空にはばたく目印の黄色いハンカチ。



喫茶店での売上金は、東日本大震災の義援金やNPO法人などへの寄附金として活用されているそうです。

皆さんもお近くを訪れた際には、ぜひ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

委員会の動き

林業等に関する調査

平成29年5月17日
総務産業建設常任委員長 上池如夫

津家地区木材集積基地は、面積39,100㎡の造成事業で、平成29年度現在の工事進捗率19.5%であり、平成32年度には竣工予定である。

風力発電建設事業では、8基の風力発電設置箇所のうち4カ所までの敷地造成が進んでおり、平成31年5月の運転開始予定になっている。この風力発電による発電量は18,370kw、約10,000世帯の電力量に相当し、CO2削減量が約23,000t、杉の木材での年間吸収量を1本当たり14kgとすると、約160万本分での環境貢献ができるとのことである。発電した電力は再生可能エネルギー特別措置法に基づき、四国電力に売電予定である。津家地区木材集積基地建設に合わせ、風力発電所の管理道路が完成し、林業・木材産業にもこの道が利用できれば森林施業の効率化と、木材の安定供給、森林所有者の収益にもつながり、山林保全管理や森林資源の利活用がしやすくなり、本町が計画している「大豊町まち・ひと・しごと創生総合戦略」100年の森づくりの推進となり、地域資源を活用した安定した雇用が創出すると考えられるため、早期の若手林業家の育成も望まれる。



風力発電工事現場

編集後記

梅雨に入り気温の変化が激しい日々が続いていますが、体調管理には十分お気をつけください。

今議会、新規採用職員5名の紹介があり、住民の皆様要望にしっかり応えていただける元気で明るい職員とお見受けしました。また、林野庁より、若林甫さんがプロジェクト推進室に配属され大変期待できるそうです。

心配されていましたが山荘梶ヶ森の指定管理者が決まり、早期の営業再開を期待するところであり、消えかけていた本町の灯りが一つ戻り明るい兆しも見えてまいりました。

私、議員活動半年とまだまだ未熟な一年生ですが、住民の皆様に分かりやすい広報誌を心がけ、議会だよりの作成に努めてまいります。

今後ともよろしく願います。

編集委員

小笠原妙子

〔ご意見やご感想は〕大豊町議会事務局
☎72-0468(直通)

議会からのお知らせ

◆4月20日 好永公一副町長ご夫妻が、天皇、皇后両陛下主催の春の園遊会に招待され参列されました。心からお祝い申し上げます。

◆平成27年7月1日に就任されました田坂仁志副町長が、平成29年6月30日をもって任期満了となり、国の職員として復帰されました。田坂副町長におかれましては、地方創生人材支援制度によって本町に着任され、地方創生をはじめとし、行政全般にわたり多大なご尽力を賜りましたこと感謝申し上げますと共に、今後、ますますのご活躍をお祈りいたします。